

支部医療費適正化等予算（案）

分野	区分	新規・継続等の区分	取組名	経費 (単位：千円)	事業概要
医療費適正化対策経費	企画係部門	新規	乳幼児医療費助成対象者へのジェネリック医薬品使用啓発	1,169	ジェネリック医薬品の使用割合の低い加入者層へのアプローチとして、“公費助成対象者”に対して、啓発リーフレット・ジェネリック希望シールを配布することで、ジェネリック医薬品の周知・使用割合の向上につなげる。
		新規	位置情報(ジオターゲティング広告)を利用したジェネリック医薬品に係る効果的広報	699	スマホの位置情報を利用しジェネリック医薬品利用率向上に寄与と思われる医療機関や薬局の利用者に対し直接ジェネリック医薬品利用促進のバナー広告を表示させ効果的な広報を展開する。
	関係業務	新規	医療機関事務担当者向け健康保険事務説明会	204	医療機関事務担当者向け説明会を開催し、資格喪失後受診に対するレセプトの返戻同意や、高額療養費制度の説明や限度額適用認定証の使用促進等の要望を行う。また、支払基金より診療報酬改定内容に係る注意点やレセプト請求時の注意点について説明していただくこととする。
				2,072千円	

分野	区分	新規・継続等の区分	取組名	経費 (単位：千円)	事業概要
広報・意見発信経費			紙媒体による広報 (定期的に全事業所、任意継続被保険者宛に送付するチラシ等印刷、及び業務用のリーフレットやポスター、冊子(しおり)の作成等)	2,819千円	→別紙参照
	その他の広報	新規	地域情報誌での広報(ニュース和歌山)	528	新聞全国紙に折込み、県内北部の15万世帯に配布される地方情報紙(ニュース和歌山)の一面広告スペースに広報記事を掲載し、保健事業・ジェネリック医薬品の促進等の情報提供を図る。
		継続	地域情報紙での広報(リビング)	528	地域の情報紙(フリーペーパー)「LIVING和歌山」の健康情報コーナーを活用し、健診及び保健事業案内、協会けんぽイベント案内、インセンティブ制度等の周知、情報提供を図る。
		継続	バス車両広告による広報	528	和歌山市内のバスにラッピング広告を掲載し、健診受診促進の広報を実施する。
		継続	県広報誌への広報	770	和歌山県の広報誌「県民の友」紙面内広告を活用し、健診及び保健事業案内、ジェネリック医薬品の使用促進及び保険料率改定の案内等、周知・情報提供を図る。
		継続	「わかやま健康と食のフェスタ」へのブース出展ほか	114	和歌山県主催の「わかやま健康と食のフェスタ」に保険者協議会の一員としてブース出展し、健診受診や健康増進にかかるPRを実施する。
		継続	インセンティブ(健診・ジェネリック・協会けんぽの取組)にかかるセミナーの実施	746	各事業所ごとのインセンティブレポート等を活用し事業所ごとのインセンティブに係る課題を理解してもらうためセミナーを開催しインセンティブ項目指標数値の底上げを図る。
		継続	TV局のスポットCMの活用による広報	397	地元TV局のCM枠に提供し、大規模イベントに合わせた集団特定健診の募集案内を中心に広報を行う。視聴率の望める有望な番組に、15秒CMを放映するもの。
		新規	特定健診およびインセンティブ制度にかかるラジオ広報の実施	370	商工会議所主催のイベント「商工まつり」における特定健診(集団)の申込者拡大を図るため、ラジオ広報を実施するもの。併せてインセンティブ制度についてもラジオ広報時に説明し加入者理解を向上する。
		継続	バス車内TVフォト広告(ジェネリック医薬品啓発等)	682	バス停留所到着時に、運賃表示器に「ジェネリック医薬品使用促進」を中心に事業案内広告を表示する。
		新規	バス車内放送広告(ジェネリック医薬品啓発等)	396	停留所到着時に、「ジェネリック医薬品使用促進」に係る案内放送を実施する。協会けんぽのジェネリック医薬品使用促進に対する啓発を行い、支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上をめざすもの。
			7,878千円		
予算枠			9,963千円		
計			9,950千円		

広報・意見発信に係る実施計画(令和2年度)

別紙

● 紙媒体による広報

(定期的に全事業所、任意継続被保険者宛に送付するチラシ等印刷、及び業務用のリーフレットやポスター、冊子(しおり)の作成等)

合計	2,818,424円
----	------------

事項 (詳細)	目的 (使途項目)	実施時期	仕様 (サイズ・紙質・色等)	配布対象者	期待される効果	経費(全体) <単位:円>
支部の取組事業をまとめた冊子の作成	わかやま健康づくりチャレンジ運動、健診・保健指導の実施、ジェネリック医薬品使用促進、インセンティブ制度等にかかる広報内容をまとめた冊子を作成し、事業所訪問時等に提供。 各事業を一括して案内することでより理解を得やすいツールとして活用する。	令和2年4月～	A4 8P マットコート135Kg 中綴じ製本	事業主、事務担当者	事業所訪問における訪問目的の理解度の向上、支部事業の周知広報。 全体をまとめた冊子にすることで、各事業間の関連も示しやすくなり、事業所に伝わりやすく、訪問者にとっても説明しやすくなる。また、冊子化することで保管も容易になり、後日内容を見てもらいやすくなる。	319,000円
納入告知書同封チラシ	事業案内等	毎月	A4・両面カラー印刷・三つ折り 紙質上質70kg	事業主	事業主・事業所担当者への周知及び情報提供	1,373,024円
事業案内用カレンダー	事業案内等	令和2年度中	180mm×220mm カラー	健康保険委員	健康保険委員への周知及び情報提供	616,000円
健康保険事業にかかる小冊子の作成	加入者が、制度の認知や理解が不足していることで、不利益とならないようにする。	令和2年度10月～3月	A5・両面カラー・16ページ	加入者	<ul style="list-style-type: none"> ・各種制度認知度の向上 ・郵送化率の向上 ・保険証回収率の向上 	510,400円

支部保健事業予算(案)

分野	区分	取組名	経費 (単位:千円)	新規・継続 等の区分	事業概要
健診経費		健診実施機関実地指導旅費	50		
	集団健診	協会主催の集団健診実施にかかる経費	6,644	継続	がん検診と同日実施できない市を中心に協会主催の集団健診(無料)を実施し、未受診者の再勧奨を行う。 出来る限り快適に集団健診を受けていただくため、健康啓発DVDを視聴しながら待ち時間を感じさせない工夫をするとともに、受診者の健康意識を向上させることで、次年度以降の集団健診受診へつなげていくことが目的である。
		集団健診受診者へのDVDによる健診・予防ラーニング	121	新規	
	事業者健診の結果データの取得	健診機関による委任状取得の委託費	22	継続	
		事業者健診にかかる同意書取得勸奨及び健診結果データ取得勸奨等の外部委託	7,700	継続	事業者健診にかかる同意書取得勸奨及び健診結果データ取得勸奨を外委託により全面实施することで、事業者健診実施率の向上を図る。
		事業者健診結果データ提供にかかる費用	385	継続	健診機関で対応出来ない事業所等からの健診結果データの提供を求めることで、事業者健診実施率の向上を図る。
		健診推進経費	3,979		健診(生活習慣病予防健診、事業者健診、特定健診)実施率向上に向けた健診機関による取組みの推進
	健診受診勧奨等経費	和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業	86	継続	院内掲示用の特定健診広報用ポスターを作成のうえ、和歌山県医師会を通じて、配布。
		生活習慣病予防健診同時勧奨による新規受診者の獲得	1,188	新規	事業所及び対象者個人への同時勧奨による生活習慣病予防健診受診率向上の相乗効果を目的とする。
		任意継続加入者への生活習慣病予防健診及び特定健診の案内	1,011	継続	任意継続加入者へ特定健診の案内(一括分+随時分)により、健診制度の周知、受診者数の増加を図る。
被扶養者向け集団健診における広報(案内)		2,077	継続	協会による集団健診の利用促進ならびに健診を受ける機会の提供拡大	
	付加健診該当者への個別案内	364	継続	生活習慣病予防健診の付加健診対象者(40歳、50歳)に対し、別途、付加健診のメリットや受診年度であることを周知し、付加健診が受けられる機会の喪失を防ぐとともに、生活習慣病予防健診の受診を促進する。	
保健指導経費		中間評価時の血液検査費	990		特定保健指導参加者の効果測定を目的とした血液検査
		医師謝金	13		保健指導に関して医学的な意見・助言を受けるため。
		保健指導用パンフレット作成等経費	40		
		保健指導用事務用品費(測定器機器類等)	100		
		保健指導等図書購入費	50		
		公民館等における特定保健指導	40		保健指導会場借料費用
		保健師募集広告経費(支部)	50		
	保健指導推進経費	「前年度実績超過分」を報奨金の対象とする実施機関	198		
		新規契約機関又は前年度実績が60件以下の実施機関のうち、当年度実績が61件以上の実施機関	297		
	保健指導利用勸奨経費	特定保健指導の利用勸奨	198	継続	特定保健指導に関する事業所および対象者への利用案内の実施。
休日・夜間の特定保健指導の案内		668	新規	事業所訪問等で特定保健指導を実施できなかった方を対象に、個別に特定保健指導の案内を送付し、実施者数拡大を図る。	

分野	区分	取組名	経費 (単位:千円)	新規・継続 等の区分	事業概要
防重 事業化 経予		未治療者受診勧奨	341		高血圧・糖尿病の受診勧奨
		重症化予防対策	839		和歌山県版糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムにあわせて受診勧奨およびハイリスク者への保健指導を実施する。
コ ラ ボ へ ル ス 事 業 経 費	コ ラ ボ へ ル ス 事 業 経 費	健康宣言事業所事業	2,848	継続	和歌山県との健康づくりに関する協定に基づいて、健康宣言事業「わかやま健康づくりチャレンジ運動」を県民運動として実施するもの。チャレンジ運動登録を契機に事業主が率先して会社の健康づくりに取り組み、取組結果をレポートする。さらに、必要な要件を満たした場合は、和歌山県の「わかやま健康推進事業所」の認定も受けることができる。
		職場における健康づくり取組アンケートフィードバック事業	291	継続	被保険者20名以上の事業所に対し、アンケートを実施し、回答に基づいた自社の健康づくりの取り組み度を指標化して希望する事業所に送付してフィードバックし、健康宣言事業である「わかやま健康づくりチャレンジ運動」登録勧奨を行うもの。
そ の 他 の 経 費	そ の 他 の 保 健 事 業	メタボ流入抑制対策	101	継続	昨年の健診結果で、特定保健指導の対象基準に近かった方へ、健診受診3か月前頃にお手紙を郵送し、健診結果に向けて生活習慣の改善を呼びかける
		歯科検診とのコラボによる特定保健指導の開催	316	新規	扶養家族の特定保健指導実施率が低く、利用券を使用する方が少ない状況。 歯科検診を同日に行うことで、特定保健指導の集客につなげたい。 また、糖尿病重症化予防等に歯周病予防との関連があることから、歯科検診を通じて歯周病予防につなげる。
		集団健診後の結果説明会及び特定保健指導の実施	9	継続	健診結果を郵送するだけでなく、直接受診者に健診結果を説明することで、健康増進を図る。 健診結果を渡す機会を通じて、特定保健指導実施率向上を図る。
		保健事業計画アドバイザー経費	95		

予算枠 31,180

合計 31,111